天然岩ガキやサザエ・ホタテに由利牛も！
第５回にかほ海の幸まつり

７月13日、にかほ海の幸まつりとねむの丘夏まつりが同時開催され多くの人が訪れました。

名物・天然岩ガキの炭火焼きには、焼きあがりを待つ長蛇の列ができ、海鮮バーベキューも大好評でにかほの海の幸を満喫。You-Yu Bounceによる「We Are Theネイガー」の熱唱など、大盛りあがりの会場で本格的な夏の始まりを感じていました。

▲天然岩ガキ！生食も美味しいけど炭火焼きも絶品です！

元一流選手が球技の魅力を伝える
SOMPOボールゲームフェスタinにかほ

７月13日から14日の２日間にかけて、一流の元アスリートが球技の魅力を伝える「SOMPOボールゲームフェスタinにかほ」が象潟体育館と象潟グラウンドで開催されました。市内の未就学児や小学生を対象として行われた当イベント。参加者たちは元アスリートたちとともに汗を流し、ボール遊びなどを通じて運動の楽しさを実感している様子でした。

▲青木愛さんも子どもたちと球技を楽しみました

各種大会結果

本荘由利中学校 総合体育大会

【野球】
③金浦・矢島中学校

【サッカー】
②仁賀保中学校
③象潟中学校

【バスケットボール男子】
③仁賀保中学校
③象潟中学校

【ソフトテニス男子】
▽団体
②象潟中学校
③仁賀保中学校
▽個人
③齋藤貴仁・小松一星ペア（仁賀保中）

【ソフトテニス女子】
▽団体
②象潟中学校
▽個人
②佐藤慧・齋藤茉那ペア（象潟中）

【剣道男子】
▽団体
②仁賀保中学校

【柔道男子】
▽個人50㌔級
③阿部海音（仁賀保中）
▽個人73㌔級
①白瀬雄也（仁賀保中）

【柔道女子】
▽個人44㌔級
②荒木春香（象潟中）

【水泳】
▽男子400mフリーリレー
③象潟中学校
▽男子50m自由形
①伊藤聖瑛（象潟中）28秒19
▽男子200m自由形
②伊藤聖瑛（象潟中）
▽男子100m平泳ぎ
②須藤駿太（象潟中）

【大会新】
▽男子200m平泳ぎ
②須藤駿太（象潟中）

【大会新】
③須田碧（象潟中）
▽女子200m自由形
②神﨑紀花（象潟中）
▽女子400m自由形
②小島胡珀（象潟中）
▽女子800m自由形
①小島胡珀（象潟中）13分00秒48
▽女子100mバタフライ
①遠藤怜（仁賀保中）1分19秒02
▽女子200m個人メドレー
②神﨑紀花（象潟中）
③遠藤怜（仁賀保中）

秋田県少年少女陸上競技大会 兼小学校陸上競技大会秋田県予選会

▽男子コンバインドB
①阿部聖（金浦小）2、261点
▽女子6年100m
②宇沼愛菜（平沢小）
▽女子80mハードル
②木村美月（平沢小）
▽女子走り高跳び
③佐々木心美（象潟小）
▽女子コンバインドB
①熊谷碧衣（平沢小）1、947点

3位以内を掲載。
①…1位（優勝）
②…2位（準優勝）
③…3位

千客万来 にかほ本舗（ほんぽ）

広報で伝える市内店舗の魅力（商工会加盟店の紹介と人気商品の読者プレゼントコーナー）

第8回 花のしぶや
－Hana no SHIBUYA－

人気コーナーにか本舗、今回は花のしぶやさんです。

店長の渋谷康隆さんは、１級フラワー装飾技能士とNFD１級フラワーデザイナーの資格を持つ本格派で、４月に行われた「２０１９フラワーデザインコンテストin大阪」では、見事ファイナリストに選ばれました。

市民との触れ合いを大切にしている渋谷さんはお得意さまも多く、顔を見れば希望しているお花や自宅の花瓶の大きさも分かるほど。誕生日や開店のお祝いの生花をメインに扱い、シックでオシャレ、そして常にお客さまのご要望を超えるものを提供できるよう心掛けています。

今回、花のしぶやさんより、見て楽しむ♪香りを楽しむ♪入浴を楽しむ♪花のかたちの入浴剤・バスフレグランスを３名様にプレゼント！ご応募お待ちしています。

店内では生花のほか、プリザーブドフラワーなども豊富に扱っています。ぜひお越しください。

花のしぶや －Hana no SHIBUYA－
／所在地　にかほ市平沢字田角森125・1
／時　間　午前8時30分～午後6時30分
／定休日　毎週火曜日
／問合先　☎0184・32・3232

渋谷康隆さん

お花のことならなんでもご相談、ご用命ください。

花のかたちの入浴剤
Bath Fragrance
バスフレグランスを
３名様にプレゼント！

応募方法　ハガキ、FAX、QRコード（申し込みフォーム）
記入事項　発行号、郵便番号、住所、氏名、年齢、性別、電話番号、『広報にかほ』への意見・感想等を記入
応募期限　8月26日(月)
応募先　〒018－0192 秋田県にかほ市象潟町字浜ノ田１番地 にかほ市役所「広報にかほプレゼント係」 FAX　0184－62－9013
※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。
QRコード

鳥海山・飛島ジオパークリレーコラム
～日本海と大地がつくる水と命の循環～

＝第56回＝「鳥海山で秋を感じる鷹見台」

鳥海南麓自然保護官事務所
猛禽類保護センター・鳥海イヌワシみらい館
希少種保護増殖等専門員
長船　裕紀　氏

日本で確認されたことのある野鳥の種数は約650。実はその半分以上の種が、季節に応じて移動をする「渡り鳥」です。身近な渡り鳥を挙げると、夏鳥ではツバメやカッコウ、冬鳥ではハクチョウ類やツグミ等が有名です。夏鳥は繁殖地として、冬鳥は越冬地として日本に滞在します。例えば、秋季は夏鳥が東南アジア等に向かっていくのを見送ると同時に、シベリア等から南下してくる冬鳥を迎え入れる時期。また、北海道や東北などの多雪地から雪の少ない地域へと国内移動する野鳥もいます。この野鳥の大移動を観察する楽しみ方の一つに、〝タカ（鷹）の渡り〟があります。見晴らしの良い眺望点から目の前を通過するタカを見る。それらを写真に収めたり通過する数をカチカチとカウンターで数えたりと楽しみ方は様々。全国各地に観察スポットがあり、メッカでは１日で1、000羽以上が観察されています。鳥海山は全国有数とまではいきませんが、鉾立の登山口周辺は秋季の渡りを見るのに適した眺望地。上昇気流に乗ってぐんぐん上昇するタカを間近に見ることができます。今秋は標高1、000mから望む象潟、黄金の稲穂を背景にタカの渡りを間近に見てみませんか。

▲観察者が呼ぶ「鷹見台」から見た象潟の眺望

▲秋の渡りで見られるタカの仲間